

No.1	根尾 昂	大阪桐蔭高 遊撃手、投手/右投左打	68pt
No.2	藤原 恭大	大阪桐蔭高 中堅手/左投左打	45pt
No.3	小園 海斗	報徳学園 遊撃手/右投左打	32pt

4	野村 大樹	早稲田実/捕手/右投右打	20pt
5	米倉 貴太	埼玉栄/投手/右投右打	14pt
6	引地 秀一郎	倉敷商/投手/右投右打	10pt
6	林 晃汰	智辯和歌山/三塁手/右投左打	10pt
8	矢澤 宏太	藤嶺藤沢/投手/左投左打	8pt
9	増田 陸	明秀学園日立/遊撃手/右投右打	6pt
9	濱田 太貴	明豊/三塁手/右投右打	6pt
11	市川 悠太	明德義塾/投手/右投右打	5pt
11	柿木 蓮	大阪桐蔭/投手/右投右打	5pt
13	太田 椋	天理/遊撃手/右投右打	4pt
13	森下 翔太	東海大相模/中堅手/右投右打	4pt
15	細川 拓哉	明秀学園日立/投手/右投右打	3pt
15	大谷 拓海	中央学院/右翼手、投手/右投左打	3pt
17	増居 翔太	彦根東/投手/左投左打	2pt
17	島田 直哉	龍谷大平安/投手/右投右打	2pt
17	野村 佑希	花咲徳栄/三塁手/右投右打	2pt
17	山口 航輝	明桜/一塁手/右投右打	2pt

2018夏 野球太郎的 ドラフト候補 ランキング 高校生部門



「一足早く春夏連覇！」
『別冊野球太郎2018春』に引き続き、実施した「野球太郎的ドラフト候補ランキング」。高校生部門は前回に続き、根尾昂（大阪桐蔭）が連覇を達成した。しかも、前回はチームメートの藤原恭大と同ポイントだったものの、今回は大きく差をつけた。アンケータを集計したのが5月中旬だったため、センバツで胸上げ投手＆打率5割の根尾に対し、センバツから春季府大会にかけて、右膝が万

全でなかった藤原のポイントは伸びなかったのだろう。ただ、近畿大会で藤原は完全復活。現在、集計したら、また違った結果になったかもしれない。

トップ5の顔ぶれは前回と同じだったが、6位以下では動きが見られた。特に、矢澤宏太（藤嶺藤沢）、増田陸（明秀学園日立）の2選手が、前回のゼロポイントから急浮上。

反対にランキングを落としてしまったのは太田椋（天理）。勝ち上がった上で活躍しないとポイントが稼げないため、昨秋、今春と奈良県大会止まりだったのが痛かった。ただ、球場で見た太田のプレーは上位候補と評価してもいいほどレベルアップしている。昨年の中村奨成（広陵→広島）のように甲子園で実力を発揮すれば、自然と評価は上がるだろう。今夏の活躍に期待したい。

また、204ページから「野球太郎的ドラフト候補ランキング」特集記事を組んでいる。そこでは、総合ランキングをはじめ、大学生・社会人も紹介しているので、こちらも必読だ。